

～小・中学校 社会科編～

小 学 校 社 会		中 学 校 社 会																									
(1) 目標の改善	<p>各校で3年生、4年生のそれぞれの目標を設定する。</p> <p>「広い視野から」 身近な地域から市、市から府、我が国全体から見た府の位置、世界全体から見た我が国の位置を内容に盛り込み、それぞれにつながりを持たせるよう配慮する。</p> <p>「考えたことを表現する」 事実・事象や統計資料等を用いて、根拠を明らかにして考えを述べ合う社会科らしい言語活動を展開する。</p> <p>「問題解決的な学習の一層の充実」 学習問題に即した調べる学習、追究解決する学習の中で、言語活動の充実を図る。</p> <p>「観察、資料活用の技能、基盤となる知識」を明確にしておさえ、習得できるようにする。</p>	<p>教育課程の改善のポイント</p> <p>(1) 学習指導要領の改訂のポイント</p> <p>主な改善点 調べ学習から世界や日本の諸地域学習へ主軸を移して内容構成(地理) 学習内容の構造化・焦点化による理解の深化と定着(歴史) 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を生かして内容構成(公民) 言語活動の充実 世界の様々な地域や身近な地域の調べ学習(地理) 各時代の特色や時代の転換の様子をとらえる学習(歴史) 持続可能な社会を形成するという観点からの課題探究学習(公民)</p>																									
(2) 内容の改善	<p>3・4年生 「県内の特色ある地域の人々の生活」では、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。</p> <p>5年生 「我が国の通信などの産業」で情報化した社会の様子と国民生活とのかかわりについては情報ネットワークの公共利用について取り上げること。 【内容配列の変更】旧 農水産業 工業 情報 国土 新 国土 農水産業 工業 情報</p> <p>6年生 「室町文化」、「町人の文化や新しい学問」を独立した内容として取り上げること。</p>	<p>(2) 移行期間における改善のポイント</p> <p>地理的分野 ・ 22・23年度入学生に対応した指導計画の立案 ・ 小学校社会科との接続に留意した指導計画の立案 ・ 地域社会に参画する態度の育成を踏まえた身近な地域の調査の工夫</p> <p>歴史的分野 ・ 新学習指導要領に対応した指導計画の立案及び実施 ・ 言語活動の充実に関心した各時代の特色や時代の転換の様子をとらえる学習の工夫</p> <p>公民的分野 ・ 制度や仕組みの意義や意味、働きを考察させたり理解させたりする指導の充実 ・ 法や金融に関する学習の充実</p>																									
(3) 内容の取り扱いの改善	<p>子どもたちに意識させたい内容 「法(ルール)やきまり」、「地域の人々の協力」、「受け継いできた文化財や年中行事」、「自然災害の防止」、「価格や費用」</p> <p>・ 社会の形成に参画する基礎を培う授業の構成 「公助・共助・自助」という見方や、実社会と個人のつながりを見つめさせる指導、いわば当事者の側に立った自分ごととして考えることができる指導が求められる。</p> <p>・ 社会的な見方や考え方の育成 社会的事象を比較・関連・総合して考えることを大切に</p>	<p>全面的実施に向けて、各学校において取組が求められること 学習指導要領に対応し、3年間を見通した指導計画の立案 全面的実施に向けた取組</p> <p>動態地誌的な学習による「日本の諸地域」の教材開発(地理) 学習内容の焦点化を踏まえ、導入・まとめを重視した教材開発(歴史) 「現代社会の内容をとらえる見方や考え方」を生かした教材開発(公民) 持続可能な社会を形成するという観点から課題を探究させるために必要な指導計画の立案と教材開発(公民)</p>																									
<p>【21・22年度 移行措置期間に実施する内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3・4年に「我が国における自分たちの県(都道府)の地理的位置」、「47都道府県の名称と位置」を加える。(H21,22) ・ 平成23年度に5年生になる学年には「県内の特色ある地域の人々の生活」を新学習指導要領により指導をしておく。 ・ 5年には「世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土」を加える(H21,22) <p>詳細は、小学校教育研究会社会部が各校に配布した「移行措置期間の指導計画案」を参照すること。</p>		<p>表 新教育課程による指導時数の変化(中学校社会)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>地理</th> <th>歴史</th> <th>公民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現行</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>新課程</td> <td>120</td> <td>130</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>H22年度入学生の指導時数(例) H22・1年 「地理」「歴史」105時間 H23・2年 「地理」「歴史」105時間 H24・3年 「歴史」40時間 「公民」100時間</p>			地理	歴史	公民	現行	105	105	85	新課程	120	130	100												
	地理	歴史	公民																								
現行	105	105	85																								
新課程	120	130	100																								
<p>表 各学年の授業時数増減(小学校社会)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/学年</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21・22</td> <td>70</td> <td>85</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>H23～</td> <td>70</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>105</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>±0</td> <td>+5</td> <td>+10</td> <td>+5</td> <td>+20</td> </tr> </tbody> </table>		年度/学年	3	4	5	6	合計	H21・22	70	85	90	100	345	H23～	70	90	100	105	365	増減	±0	+5	+10	+5	+20		
年度/学年	3	4	5	6	合計																						
H21・22	70	85	90	100	345																						
H23～	70	90	100	105	365																						
増減	±0	+5	+10	+5	+20																						

<指導・支援の場面で>

学習過程を明確にして、問題解決する力と考えたことを表現する力の育成を 問題意識の醸成 学習課題をつかむ 社会的事象を調べる(調査・見学、図書やPC等) 事実や事象の背景を考える 意見交流 知識の習得、活用 朝学習に社会科も! 47都道府県の名称と位置や世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置などの知識の定着を図る工夫の一つとして、朝学習においてショウアンドテルによる都道府県名クイズを取り入れた実践が報告されています。自ら地図帳や地球儀に親しむ取り組みを工夫していただくようお願いします。